

2015年8月号

発行/日本共産党龍ヶ崎市委員会

伊藤えつ子 TEL: 66-6182

金剛寺 博 TEL: 62-7549

日本共産党の見解を紹介します。

龍ヶ崎民報



伊藤えつ子
市議会議員



金剛寺 博
市議会議員



「安倍政権ノー」と開かれた集会=7月24日、東京・日比谷野外音楽堂

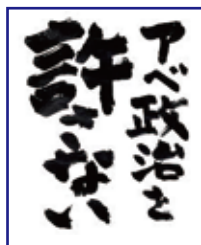
日本を「戦争する国」にさせない！ 国民の6割が反対、強行採決は許されない！

自民、公明両党は7月16日、「戦争する国づくり」をめざす「戦争法案」を衆議院で強行採決しました。しかし法案には予算案や条約と違って「自然成立」はありません。政府・与党が法案を成立させようとすれば、参院で強行採決するか、衆議院で3分の2以上の賛成で強行再議決が必要です。法案の強行採決ができません。

よう、戦争反対の声を広げに広げて、安倍政権を追い込みましょう。「戦争法案」には従来「戦闘地域」とされた地域での「後方支援」兵たん、事実上戦争が続いている地域での治安活動、そして歴代政権の憲法解釈を根底から突き崩す集団的自衛権の行使など3つの大問題があります。

6月4日の衆院憲法審査会では3人の憲法学者がそろって「違憲と宣告」。各種世論調査でも法案反対が約6割、政府の説明が不十分との声は約8割に達しています。国会周辺だけでなく各地で反対の集会・デモが連続、若者や女性だけの行動も起っています。

7月17日、水戸でも2回目
7月4日の衆院憲法審査会では3人の憲法学者がそろって「違憲と宣告」。各種世論調査でも法案反対が約6割、政府の説明が不十分との声は約8割に達しています。国会周辺だけでなく各地で反対の集会・デモが連続、若者や女性だけの行動も起っています。



常磐線佐貫駅名改称は中止を

最大の問題は「市民の合意が得られていないこと」です。

市は、5月24日、6月6日に4ヶ所で、意見交換会を開催しました。しかし、5月19日に、JR 東日本との間で「覚書」を締結していたことを5月24日の意見交換会では公表しませんでした。市民は5月26日の新聞報道で知り、「一体何のための意見交換会か」と怒っています。4ヶ所の意見交換会では「駅名改称先にありき」の進め方でした。市長は駅名改称を白紙に戻し、市民との対話を進め、市民合意をはかるべきです。

日本共産党は、

- ①改称による経済効果は、「数字で表せない計り知れない効果がある」との市長答弁だけで効果が不明であること。
 - ②強い反対の意見があり、請願が提出されていること。
 - ③約3.3億円はほかに使うべきとの強い意見があること。
 - ④約3.3億円以外の費用は示されず全体の費用がはっきりしないこと。
- などで、反対をしました。

- ◆「JR 佐貫駅名改称の協議を中止することを求める請願」は、賛成7名で不採択
- ◆平成27年度一般会計補正予算は反対7名で可決
7名の議員で、常磐線佐貫駅名改称事業3億2千9百万円の削除の修正案を提出しましたが、否決されました。

◆現在「JR 佐貫駅の改称問題を考える会」(代表:三瓶和昭氏)では「常磐線佐貫駅名改称事業及びこれに係る市費の支出の賛否を問う住民投票条例制定請求署名」に取り組まれています。

◆市議会に「安全保障関連法案」の廃止へ意見書提出を求める請願が提出され、総務委員会、本会議でも賛成討論をしました。7名の議員が賛成しました。

短信

7・17 いばらき
総がかり行動

■衆院での強行採決後、県内超党派による1200人の集会が開催されました(水戸)。



サダコと折り鶴
ポスター展開催

■龍ヶ崎市が歴史民俗資料館にて原爆症で12歳で亡くなった佐々木貞子さんのポスター展を開催しました。



平和行進 in 龍ヶ崎



■7月5日、平和と反核をアピールして広島まで行進する「平和行進」が龍ヶ崎に入りました。

6月議会報告

伊藤えつ子議員の一般質問



佐貫駅名改称の中止を求める

日本共産党は、駅名改称について、

- ①効果がはっきりしない。
- ②2000名を超える「JRとの協議中止の請願」がある。
- ③5月24日の意見交換会より5月19日のJRとの「覚書」が先で、市民は納得していない。
- ④約3.3億円の費用は別のことに使ったの意見があることなどを示し、中止を求めました。

市長は、駅名改称について、認識されていない市民が相当数いる、反対意見もたくさんあるが、改称の効果は計り知れないものがあり、推進すると答弁しました。

高齢者負担が増す介護保険の国庫負担増を求めよ

介護保険法の改定に伴い、

要支援サービスの訪問介護・通所介護は介護保険から外れ、平成29年4月より市が行う地域支援事業に移ります。その対象者は平成27年3月末現在で439人です。また8月より、利用料が1割から2割負担になる対象者は421人と想定しています。施設入所の食費、居住費を軽減する補給給付は一定以上の資産の所有で停止となります。4月から介護保険料の値上げがあり、これではますます高齢者の負担は増え、生活破たんを招きま

す。国庫負担を増やすよう求めました。

10月から通知のマイナンバー制度は中止を

マイナンバー制度は、行政が、一人一人の社会保障、保険料や、納税状況を一体に把握し、徴収強化と社会保障抑制削減に活用できることです。10月以降に、各個人に通知され、来年1月

から運用が始まります。

個人番号の流出でプライバシー情報の漏えいや不正使用の危険があります。年金の個人情報流出したばかりです。さらなる利用対象の拡大も検討され、危険は増すばかりです。制度の中止を国に求めるよう主張しました。

市は、国の動向を注視しながら適切に対応したいと答弁しました。

その他の質問事項

- ①高校3年生までの医療費助成拡大について
- ②平和教育について

無料法律相談

日時 8月25日(火) / 9月24日(木)

午後1時～4時

ところ 昭和会館(佐貫)

連絡先 伊藤えつ子 66-6182
金剛寺 博 62-7549



金剛寺博議員の一般質問



佐貫地区排水路は市が土砂撤去を

全市の排水路・道路側溝の管理状況と住民が要望している佐貫地区の3本の排水路の土砂撤去問題について質問しました。

市は、特に問題の3号路については、マンハイム西側のポンプ周辺のゴミ撤去、清掃を進め、さらに潮来街道の横断箇所には鉄板や土砂が大量にあることを確認。この撤去を検討すると答弁しました。3号路は問題箇所の撤去後、予算を取り全体の土砂撤去、現在地域住民組織が実施している1・2号路も土砂撤去は、市が計画的に実施するよう要望しました。

歴史を生かした街づくりについて

文化財や歴史遺産・史跡等への説明板の設置計画、「撞舞」への補助、歴史散歩道の整備、龍ヶ崎歴史の発掘・研究について質問しました。

市は、現在説明板を仙台藩陣屋跡、矢口家長屋門に、佐貫駅東口に観光案内板設置を準備中であり、今後は文化財や市民遺産の認定に合わせ4基の設置予定があること、撞舞広場の整備方針の作成や、歴史散歩道の整備、市内の歴史・文化遺産の掘り起しを進めていくと答弁しました。

農業支援について

龍ヶ崎市の農業の現状、農業支援状況と牛久市では、農業資材を30万円以上購入すると、一般農家で5%、認定農家で10%の補助があることも示して、小規模農家への支援について質問しました。

市は、減農薬米は30kgにつ

市長、平和行進に参加

戦後70年の節目の今年も、平和行進に市長も参加し、昨年に続き中学2年生12名が広島平和記念式典に参加、市長も同行することや平和への思いなどを語りました。



「戦争法案は違憲」「廃案にせよ」と声をあげる学者たち
=7月20日、東京都千代田区。
アピールに学者・研究者1万1218人、市民2万2779人の賛同。

き千円を補助し学校給食に使用、龍ヶ崎トマト・龍ヶ崎小菊は市場出荷時の資材補助(ダンボール箱)内容を答弁し、小規模農家への補助については、今後研究するとの答弁にとどまりました。